

科目名	数量的処理 A (基礎数学) Quantative Processing A: Basic Mathematics						
科目担当者	齊藤 芳一 SAITO Yoshikazu						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [総合教育科目 総合講座] 経営学部・経営学科 [総合教育科目 総合講座]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	公務員試験や SPI などの就職試験では、数学の力がある程度求められます。数学に関する問題(数的処理)が比較的多く出題されていますので、合格するためには数学が不得意な人も避けて通ることはできません。この講座では、数学が不得意な人やその内容を忘れてしまった人でも、公務員試験や就職試験に対応できる数学の力が身につくように、数学検定 3 級の模擬テストを教材にして、計算や関数、図形、統計などの数量的処理の基礎を丁寧に確認しながら学習を進めていきます。この学習内容は、数量的処理 B・C の学習にも関連しますので、その基礎固めを行います。						
授業の到達目標	①数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得する。 ②問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力を身につける ③数学と実社会との関連についての理解を深め、数学的に考える資質・能力を身につける。						
授業計画・内容	1	オリエンテーション 1回1次計算技能:四則, 因数分解					
	2	1回1次計算技能:方程式, 不等式, 総合題(式の値, 直線, 円周角等)					
	3	1回2次数理技能:図形(回転, 平行四辺形), 立方体, 場合の数, 統計, 放物線, 剰余系					
	4	2回1次計算技能:四則, 因数分解, 方程式, 不等式, 総合題(確率, 直線, 平行線等)					
	5	2回2次数理技能:座標, 速度と距離, 作図, 平行四辺形と比, 統計, 台形と内接円, 確率					
	6	3回1次計算技能:総合題(線対称, 正六角柱等)、3回2次数理技能:台形上の動点, 放物線					
	7	3回2次数理技能:円錐, 統計, 濃度, 展開図, 正四面体					
	8	総合演習とまとめ1(小テスト)					
	9	4回1次計算技能:総合題(サイコロ, 正九角形等)、4回2次数理技能:百分率, 直角三角形					
	10	4回2次数理技能:放物線, 統計, 立方体, 作図, 数列					
	11	5回1次計算技能:総合題(aの値, 値域, 正八面体等)、5回2次数理技能:文章題, 三角形					
	12	5回2次数理技能:中点, 統計, 円錐の母線等, 回転運動, 光の反射					
	13	6回1次計算技能:総合題(順列, 反比例, 相似等)、6回2次数理技能:濃度, 平行四辺形					
	14	総合演習とまとめ2(小テスト)					
	15	6回2次数理技能:統計, 放物線, 確率, 整数, 正四面体					
授業外学修 (事前学修)	必ず予習をして授業に臨んでください。しっかり自分で考え、解ける問題と解けない問題を明確にしておきましょう。(毎週2時間程度)						
授業外学修 (事後学修)	演習が大切ですので、課題や小テストにしっかり取り組んでください。出された課題は自分の力で解いて、次の授業開始前までに送信(提出)してください。(毎週2時間程度)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法					評価比率	到達目標との対応
	定期試験					60%	①、②、③
	課題の提出 小テスト					30% 10%	①、②、③ ①、②、③
成績評価基準	秀:(評点90点以上)到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優:(評点80点~89点)到達目標を高い水準で達成している場合 良:(評点70点~79点)到達目標を一定の水準で達成している場合 可:(評点60点~69点)到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可:(評点60点未満)到達目標に達していない場合						
教科書	西岡 康夫『改訂版 数学検定3級合格問題集』新星出版社						
参考文献	なし						
その他	1年次に履修することが望ましい。						